

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 4 年 4 月 1 日

アンケート期間：令和 4 年 3 月 1 日～令和 4 年 3 月 1 5 日

事業所名 ぴへす

保護者等数（児童数 6 回収数 割合 1 0 0 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					近くの公園を有効活用している。また現在建設中のプチ体育館も利用しながら十分な活動に繋げていく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				どの先生もとても親身になって子どもを見てくれ、人数も多くしっかり一人ひとりに対応してくれているのがありがたい。	定員10名に対し職員7名を配置している。今後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					バリアフリー化は出来ないが一人ひとりが危険性を感知できるよう支援・対応をしてきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					毎日の清掃・消毒・除菌は継続的に行っていく。
適切 な支 援の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					ご家庭との連絡を密にしながら、今後も一人ひとりにあった支援を考えていく。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83%			16%		支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分である。今後説明できるよう職員全体で詳しくなれるようにしていく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					ケース会議等で一人ひとりの個別計画の確認を行い計画に対する支援が行われているか確認している。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				毎回子どもが喜ぶ活動を行ってかれている。 身体を動かしたり脳を活性化させる内容など工夫している。	今後もお子様を楽しみと感じ保護者も共感してくださるk集うを考え取り組んでいきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		16%		84%		コロナ禍で今年度は叶いませんでしたが、東江市のひまわり保育園と提携しているため、次年度から交流を取り入れていく予定です。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	84%			16%	保護者の困り感を感じた時点でこまめに声をかけてくれて、面談の時間を設けてくれている。	今年度は実施できていないが、今後計画的に取り組みを考えていきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				日頃からその日の様子を詳しく教えてくれる。 写真を送ってくれるのでわかりやすい。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	84%	16%			日頃から保護者との連絡を密にしてくれているので頼りにしている。	いつでも話やすい環境づくりと助言に対する知識を身に付けるための自己研鑽に励んでいく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16%		16%	66%		コロナ渦でもあり、1年目でもあったため企画できませんでしたが、保護者同士の繋がりを求める声が多かったため、今後企画していくようにします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				毎月のび～すだよりがとても良い。 ホームページが常に更新されている。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%					
非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	84%			16%		今後コロナ感染予防マニュアルの作成を行い、職員で共有しながらご家庭にお伝えするようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	84%			16%	訓練の実施についてはわからない	避難訓練は2カ月に1回集団活動として実施しています。び～すだより等で様子をお伝えするようにしていきます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				朝少し不安そうにしているように感じて帰宅には満足した表情で安心する	魅力ある事業所となれるよう精進していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				子どもの大きな成長を感じ、保護者もたくさん助けられ精神的に救われ大満足です。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名

ぴ〜す

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			近くの公園を有効活用する。 建設中の体育館を活用する。
	2	職員の配置数は適切である	100%		一人ひとりがゆったりと関われる	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	84%	16%		ベビーカーで移動することもあるので玄関の段差が少し気になる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		コロナ対策が徹底されている	常に整理整頓を心掛けているが、時々乱れているところがあるので改善していきたい
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%			PDCAサイクルを職員全体で意識し共有しながら円滑に活動できるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%		アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50%	50%		アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っている
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%		社労士による研修と評価を実施している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		社労士による研修と評価を実施している	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		モニタリング毎にケース会議を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%		保護者との面談を定期的に行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%			本人支援・家族支援を適切に行っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%			計画を職員全体で共有し、計画に基づいた支援が行えるよう取り組んでいる。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			プログラムのマンネリ化を防ぐよう配慮しながら計画を作成している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			曜日で利用してる子への配慮を心掛けながら計画を作成している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%			全体のバランスを見ながら作成している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	84%	16%		開始時に時間的に不可能なときもあるが、できるだけ毎日ミーティングの時間を設けていく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		職員間で一日の振り返りが徹底されている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		タブレットで記録し、他の職員が振り返りができる	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			関係機関との連携し、モニタリングに同席させてもらうなど一貫した計画となるよう努めていく
	関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		100%			必要に応じて市役所と連絡を取りながら協力体制を整える
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		各学校と連絡を密にしながら支援にあたっている	コロナ渦で困難な状況もあるが、東金市ひまわり保育園との交流を取り入れていきたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		各学校と連絡を密にしながら支援にあたっている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%			コロナ渦の影響もあり研修等実施されていないが、今後積極的に参加していきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	33%	67%	児童館等へは行くが交流なし	コロナ渦で困難な状況もあるが、提携している東金市ひまわり保育園との交流を取り入れていきたい
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%			協議会に参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		写真付きメールで保護者に発信するなど積極的に行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	100%		一人ひとりに必要に応じて行っている	その都度面談を通して行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			契約時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分である。今後説明できるよう職員全体で詳しくなれるようにしていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		その都度寄り添った支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		保護者間の交流を求める声が多く聞こえたため、コロナ渦の状況を見極めながら今後企画していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			迅速な対応を心掛けている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信している	100%		HPやブログ、おたよ りで分かりやすく伝え ている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%			事務室にて管理してる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしてい る	100%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		コロナ渦の状況に応じて実施してい きたい
非常時等 の 対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等を策定 し、職員や保護者に周知するとともに、 発生を想定した訓練を実施している	100%			マニュアルは整備しており、2カ月に1 回訓練を実施している。保護者に内容 がわかるようにしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	100%		2カ月に1回必ず実施 している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発 作等のこどもの状況を確認している	100%		保護者との連絡のノート、送迎時に 確認している	契約時に確認し、投薬が必要なきには できるだけ職員に直接渡してもらうよ うにしているが、今後投薬表などを使 って記録として残すようにしていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされてい る	100%			対象児が現在いないが、食物アレル ギーに関わらず受診後には保護者と 連絡を取り合い、できるだけ共有す るようにしている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所 内で共有している	50%	50%	日々の会話の中で報告 しあい共有している	文章化することで明確になるので、 今後文章化する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしている	100%			研修計画に基づき実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束 を行うかについて、組織的に決定し、 子どもや保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、児童発達支援計画に 記載している	100%			身体拘束は基本的に考えていない が、やむを得ない場合を想定し考 える機会を設けたい

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。